科目名	母性看護学実習Ⅰ Maternity Nursing Practice Ⅰ	担当教員（研究室番号）	大平 肇子（104） 渡邊 聡子（102） 岩田 朋美（101） 杉山 泰子（103）	教員への連絡方法（メールアドレス）	

履修年次	1年次後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数（時間）	3(90)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的		スーパービジョンを受けながら、周産期における複雑な問題を抱える１事例への看護実践と事例検討をとおして、高度なアセスメント能力と実践能力を養うとともに、医療ケアチームにおける連携・協働・調整、倫理的問題の調整を自律的に実践する能力を養う。クリティカルケアや医療介入のための診断技術・援助技術を実践的に学び、緊急事態に対応しながらケアを行う能力を養う。
ディプロマ・ポリシー（DP）	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標		１．複雑な問題を抱える周産期の母子とその家族の症状アセスメントや看護介入、緊急事態に応じた卓越した実践、評価ができる。 ２．医療ケアチームにおける他職種・他部門との連携・協働・調整、倫理的問題に対する調整の実際をとおして、母性看護専門看護師の役割について考察できる。

成績評価方法（基準）	実習内容、実習記録、出席状況、カンファレンスへの参加状況等を総合的に評価する。
教科書	必要時、紹介します。
参考書等	必要時、紹介します。
受講者へのメッセージ	常に研究的視点をもち、臨地での体験で得られた知見を発展させることを通じ、母性看護専門看護師に求められる高度な実践能力の修得を目指しましょう。主体的・積極的な取り組みを期待します。
備考	

学　習　内　容

１　周産期における複雑な問題を抱える母子とその家族の症状アセスメントや看護介入、緊急事態に応じた高度なアセスメント能力と実践能力を養う
- 母性看護専門看護師のスーパービジョンを受けながら、周産期における複雑な問題を抱える１事例を受け持ち、ダイレクトケアを中心に看護実践と事例検討を行う。
- 複雑事例の受け持ちにあたっては、医師（産婦人科医、新生児科医）のクリニカルラウンド、事例検討、カンファレンスに参画し、医師のアドバイスを得ながら、病態をアセスメントし、医療的介入の必要性を判断する。
- MFICU入院事例への診断・検査、薬物療法、産科的処置について学び、母体の健康状態の診査、超音波断層法による胎児管理、胎児心拍数モニタリングによる健康状態の評価を行う。
- NICU・GCU入院事例の診断・検査、薬物療法、特殊な処置について学び、新生児の発育・発達の診査、新生児モニタリングによる健康状態の評価を行う。

２．医療ケアチームにおける連携・協働・調整能力を養う
- 受け持ち事例に関わる事例検討やカンファレンスに参加し、看護管理者の行うコーディネーターとしての役割やリーダーシップについて学び、周産期にある母子とその家族に提供される医療ケアの質確保、ケアシステム改善のために母性看護専門看護師が果たすべき役割について考察する。

３　ケア場面における倫理的問題を判断し、その解決に向けて調整・実践できる能力を養う
- 受け持ち事例に関わる事例検討やカンファレンスに参加し、看護管理者の行う倫理調整の実際を学び、周産期にある母子とその家族に提供される看護の質確保、業務改善のために母性看護専門看護師が果たすべき役割について考察する。